

少数台数のリコール届出の公表について (令和2年9月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和2年9月は7件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月2日	外 3088	車名：BMW 型式：7DA-GT30 通称名：BMW X6 xDrive 35d	12	令和元年12月9日～ 令和元年12月20日
不具合の部位等	リアのルーフスポイラーにおいて、接着剤配合機器の設定が不適切なため、ルーフスポイラーのベース部とスポイラー部の接着が不十分なものがある。そのため、走行振動等により接着が剥がれ、最悪の場合、走行中にスポイラー部が脱落し、後続車の走行の妨げになるおそれがある。			

2. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月3日	外 3083	車名：アウディ 型式：ABA-4MCYRA 他 通称名：アウディ Q7 2.0 Tq エアサス 他	9	平成28年4月11日～ 平成30年11月10日
不具合の部位等	かじ取装置において、作業工程管理が不適切なため、ステアリングコラムとステアリングギヤボックスとの固定ボルトの締め付け力が不十分なものがある。そのため、使用過程で当該固定ボルトが緩み、最悪の場合、ステアリングコラムとステアリングギヤボックスの接続が外れ、操舵ができなくなるおそれがある。			

3. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月3日	外 3084	車名：アウディ 型式：AAA-F1DCBA 通称名：アウディ Q8 55T q エアサス	55	令和元年11月21日～ 令和2年1月9日
不具合の部位等	オートマチックトランスミッションオイルラインにおいて、製造時の材料配合が不適切なため、適切に摩擦溶着されていないものがある。そのため、当該ラインの接続部が外れ、トランスミッションオイルがもれて、最悪の場合、路面に流れたオイルにより後続車両に事故が発生するおそれがある。			

4. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 日
9月3日	外 3085	車名：アウディ 型式：ABA-4MCREA 他 通称名：アウディ Q7 55T q エアサス 他	8	令和元年8月3日
不具合の部位等	カーテンエアバッグユニットにおいて、製造機器の設定が不適切なため、インフレーター（膨張装置）からエアバッグクッションにガスを送るノズルの溶接が不十分なものがある。そのため、ノズルが破断し、エアバッグ作動時にガスが十分送られずに正常に展開せず、最悪の場合、衝突時に乗員を十分に保護できないおそれがある。			

5. 届出者：株式会社N I C H I J O

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月8日	4802	車名：ニッセキ 型式：YDS-R06E 通称名：HTR408	39	平成28年9月16日～ 令和2年2月28日
不具合の部位等	ロータリ除雪車の電気配線において、配策指示が不適切なため、車台連結用ピンと電気配線のすき間が少ないものがある。そのため、かじ取り操作を繰り返すと当該配線と車台連結用ピンが接触し配線の被覆が損傷し、最悪の場合、短絡してエンジンが停止する。または、配線が焼損し、火災に至るおそれがある。			

6. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月15日	外 3092	車名：メルセデス・ベンツ 型式：不明 通称名：Citaro-G	23	平成21年8月21日～ 平成24年9月21日
不具合の部位等	<p>連節バスにおいて、中央車軸用アクスルモジュレータの制御プログラムが不適切なため、当該モジュレータ内部のエア開閉弁のバルブシート周辺温度が過大になり、使用過程で当該バルブシートが破損して気密性が損なわれるものがある。そのため、エアがブレーキチャンバー側に漏れて、ブレーキ操作をしていないにもかかわらず制動力が生じるおそれがある。</p>			

7. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月15日	外 3093	車名：ボルボ 型式：2DG-KA4TBL2 他 通称名：FH	7	平成31年2月6日～ 令和2年2月25日
不具合の部位等	<p>クローラーギア付き電子制御機械式自動変速機のTECU（トランスミッション電子制御ユニット）において、リバースギアのトルク限界設定プログラムが不適切なため、超重量物積載状態で後退時に、強くアクセルを踏み込んだ直後に急ブレーキ操作を行うと、エンジンの慣性によりトルクが急上昇することがある。そのため、ギアに過大な応力がかかり、ギアが破損して走行不能となるおそれがある。</p>			

【参考】

●令和2年9月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	8 (-7)	7 (-5)	1 (-2)
輸入車	12 (-14)	6 (-10)	6 (-4)
計	20 (-21)	13 (-15)	7 (-6)

※ () 内は、対前年同月比

●令和2年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-13)	19(-4)	36(-17)	210,060 (-4,684,165)	116,294 (+39,060)	326,354 (-4,645,105)
5	11(±0)	11(-7)	22 (-7)	80,875 (-14,733)	13,927 (-16,491)	94,802 (-31,224)
6	16(-4)	11(-8)	27(-12)	1,991,824 (+583,181)	9,538 (-54,219)	2,001,362 (+528,962)
7	20(+5)	15(±0)	35(+5)	183,257 (+39,709)	70,798 (+46,117)	254,055 (+85,826)
8	11(-2)	18(+5)	29(+3)	144,094 (-77,674)	37,887 (-145,375)	181,981 (-223,049)
9	8 (-7)	12(-14)	20(-21)	553,638 (-148,391)	52,731 (-47,502)	606,369 (-195,893)
小計	83(-14)	86(-14)	169(-28)	3,163,748 (-4,302,073)	301,175 (-178,410)	3,464,923 (-4,480,483)

※ () 内は、対前年同月比